

# 平成29年度 北海道小学校長会 第2回理事研修会



平成30年度

## 第70回全連小研究協議会 北海道大会、 第61回北海道小学校長会教育研究 函館大会に向けての動向について

今年度は、いよいよ、大会準備委員会を組織化して、業務を開始する年になる。そこで、年度当初の、4月26日に道小事務所にて、準備委員会立ち上げのための、事前準備委員会を行った。

出席者は、道小事務局からは、道小会長、事務局長、事務局次長2名、会計理事、経営副部長、研修副部長、そして、函館からは函館市小学校長会の会長、事務局長、事務局次長、研修部長、庶務部長、会計部長の計13名である。

この事前準備委員会において、立ち上げる準備委員会の目的、組織、業務内容、研究内容、今後の日程等について協議した。

では、協議の概要について簡単にお伝えする。

「準備委員会設立に関する規定」のプリントをご覧いただきたい。

準備委員会設置の目的については、全連小北海道大会の開催に当たり、平成29年度に事前の様々な準備を整え、平成30年度に設立される実行委員会に引き継ぐための目的とする。

準備委員会の組織は、開催地区である函館市小学校長会と、北海道小学校長会とで構成し、組織並びに構成員は、別紙の組織表のようになっている。

準備委員長は道小会長、準備副委員長は函館市小学校長会会長、事務局長は道小事務局長になる。

業務の進め方は、まず、準備事務局が各部・各委員会の準備業務の大枠を示し、各部・各委員会で計画・立案されたものを検討・調整しながら、全体の業務を遂行していく。

各委員会は、委員長が中心となって委員会を開き、計画・立案をして業務を進め、準備事務局研修会において取組状況報告や他の委員会との調整を行う。業務内容については、道小事務局と函館小学校長会とで分担し、連絡・調整しながら取組を進めていく。

各委員会が取り組む今年度の業務の見込みについてであるが、大きなところとして、10月までに大会案内と申し込み要領、いわゆる2点セットと呼ばれるものの原稿を作成して年度内に印刷・発送することと、もうひとつは、今年度末までに「大会運営要項」を完成させることである。

「大会運営要項」というのは、平成30年度に実行委員会が取り組む、大会までと、大会当日の業務の細案を綴ったもので、これを見るとすべての動きが分かるという内部資料である。

また、今年度中に、3回の準備事務局研修会を函館にて開催し、事前準備委員会に出席した先ほどの13人が集まって、各委員会の立案についての審議や、取組状況について連絡・調整等を行うこととしている。

なお、全連小役員の前年度表敬訪問が、7月27日、28日に予定しており、函館市長、函館市教育委員会、渡島教育局等の訪問のほか、全体会の会場視察などを行う予定である。

函館市小学校長会の準備委員の皆様も、着々と業務に取り組んでくださっており、道小事務局と連絡を密にとりながら、協力体制を強化して計画的に進めていきたいと考えている。